

特定非営利活動法人 東海自然学園
2020 年度 総会議案書

日時：2020 年 6 月 17 日（水）13 時 30 分

会場：神田荘

議事次第

- 1、 開会
- 2、 代表理事挨拶
- 3、 議長選任
- 4、 審議事項
 - 第 1 号議案 2019 年度事業報告の件
 - 第 2 号議案 2019 年度収支決算報告の件
 - 第 3 号議案 2020 年度事業計画の件
 - 第 4 号議案 2020 年度収支予算計画の件
 - 第 5 号事案 2020 年度役員選任の件
- 5、 質疑及び討論・採決
- 6、 閉会

2019年度事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

【2019年度方針】

◎『東海シニア自然大学15周年、感謝と更なる発展!』

15周年という区切りの年。派手なセレモニーは予定しないが、東海シニア自然大学に関わって下さっている方への感謝の想いを表現すると共に、今後への継続と更なる発展に繋がるよう、各科や部で意識して行事や企画を実施する。

- ・ 新年の特別講座はより多くの方に講演会にご来場いただけるよう、例年の会場より大きい会場を確保し、会報誌やチラシ・新聞広告の掲載などで広く広報。その結果、卒業生や一般の方の来場者数が200名以上となり、在学生と合わせると320名ほどの参加となった。会員の中には久しぶりに当学園の行事に出席して下さった方も多く、良い機会となった。
- ・ 15周年ということで、OBツアーなどを積極的に企画し、会員間の交流を深め、今後の活動向上の起爆剤にしたいと考えていたが、OBツアーの企画実施ができなかった点は反省すべき点もあるが、来年度に期待する。

① 自然活動リーダーの養成講座事業

東海シニア自然大学 講座部

■基礎科

◇人数 ◎花組(37名) ◎星組(37名)

◇実施日

- ・花組 第1・第3火曜日
- ・星組 第2・第4火曜日

◇担当

- ・花組 スタッフ4名、アシスタント2名
- ・星組 スタッフ4名、アシスタント2名

◇修了者・皆勤者数

- ・花組 34名 ◎1年間皆勤10名
- ・星組 36名 ◎1年間皆勤12名

◇資格取得者(自然観察アドバイザー)

- ・花組(3名) ・星組(14名)

◇高等科への進学者数

- ・33名

◇内容報告

- ・退学者があつたが、それぞれ個々の事情(健康上の理由など)によるものだった。
- ・講座中の大きな怪我や事故などなく、安全に1年間の講座を実施することが出来た。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、花組「報告会」・修学旅行・修了式が中止となった。企画委員会が時間をかけて準備した修学旅行が実施できず、最後にクラスの仲間と会えず、大変残念だったがご理解いただき、修了証書などは郵送とさせて頂いた。
- ・下記の講座は講師、フィールドの変更があつたが、大きな問題なし。受講生の評価も概ね良好であつた。(変更理由:フィールドの安全確保)

【河川の生き物】講師、フィールドの変更

- 内田朝子先生（フィールド：支流の籠川）⇒國村恵子先生（フィールド：香流川）
- 【身近な野草】フィールドの変更
- フィールド：豊田市民芸の森 ⇒フィールド：小幡緑地

◇委員会活動

【企画委員会】

- ・ **花組** 〈日帰り企画〉 7/30（火）八島ヶ原湿原にてガイドウォーク・植物観察（28名参加）
〈修学旅行〉琵琶湖博物館、湖北野鳥センター、渡岸寺観音堂などを巡る企画だった。
- ・ **星組** 〈日帰り企画〉 8/6（火）伊吹山にてガイドウォーク・高山植物の観察（26名参加）
〈修学旅行〉福井県の恐竜博物館、中池見湿地、縄文博物館などを巡る企画だった。

【観察記録委員会】

- ・ 両クラスともに全員が個々の観察記録を提出し、委員会が立派な冊子に仕上げた。
（星組は報告会にて各自の観察記録を発表できたが、花組は報告会が中止となった。）

【学園祭委員会】

両クラスともに委員会を中心にクラス全体で取り組み、ステージ発表、展示、ワークショップに挑戦した。ステージ発表では班ごとに歌、クイズ、踊り、研究発表など、様々な切り口で自然をテーマにした発表があり、学園祭を大いに盛り上げた。

●実施日：11月29日（金）・30日（土）

●会場：愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター

- ・ **花組** 〈ステージ〉『自然に触れあう会（アイ）！・👁️（eye）！・愛（アイ）！』
〈展示〉『自然に触れあう会（アイ）！・👁️（eye）！・愛（アイ）！』
〈ワークショップ〉『ネズミの竹細工』『朱印帳を手作りで』
- ・ **星組** 〈ステージ〉『見たい 見つけたい 自然の不思議』
〈展示〉『私たちのクラフト作品と植物画』
〈ワークショップ〉『作って遊ぼう 折り紙・標本・クリスマスツリー』

■高等科

●36名の受講生でスタートし合宿・学園祭・修学旅行を含めて全30回の講座を実施した。

◇実施日 金曜日

◇担当 スタッフ（5名）

◇修了者数

- ・ 36名 ◎2年間皆勤者（5名） ◎1年間皆勤者（5名）

◇資格取得（自然観察上級アドバイザー）

- ・ 4名

◇実施内容

- ・ 1年間を通して事故やトラブル等の問題などなく、安全に全講座を実施することができた。
- ・ 講師やフィールドの変更はせず、下記を改善し、より充実した内容の講座を目指した。
 - 【ハナノキと貴重な植物群】→湿地は歩道が狭いため2コースに分けて観察を実施。
 - 【身近な哺乳類】→講座タイトルを「鳳来寺周辺の自然」に変更し、哺乳類のみにスポットを当てた内容ではなく、鳳来寺周辺の自然を広く学ぶ内容に変更した。

◇委員会活動

【企画委員会】

- ・（日帰り企画）7/12（金）福井県三方五湖方面「年縞博物館」「縄文博物館」（29名参加）
- ・（修学旅行）伊豆半島（修善寺ジオリア・浄蓮の滝・瓜木崎公園）などを巡る企画だった。

【観察記録委員会】

- ・委員会が中心となり全員の観察記録を冊子にまとめ完成させた。

【学園祭委員会】

第8回学園祭のテーマ「感じることを大切に、分かち合おう感動を！」を決定し、委員会メンバーを中心に盛り上げた。

●実施日：11月29日（金）・30日（土）

●会場：愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター

- ・〈ステージ〉『感じることを大切に、分かち合おう感動を！』
- ・〈展示〉『感じることを大切に、分かち合おう感動を！』
- ・〈ワークショップ〉『竹と紙で遊ぼう』

■カリキュラム選択科

今年度は下記の科目に選択科参加があった。

- ・「湿地を知る」北山湿地 1名
- ・「植物を知る②」茶屋が坂公園 1名
- ・「昆虫と植物の関係」海上の森 1名
- ・「昆虫と菌類の共生」稲武 2名
- ・「地質めぐり②」知多半島 2名
- ・「中部の植物観察①」森林公園 2名
- ・「身近な哺乳類」鳳来寺山 2名
- ・「インタープリテーション①」東山動物園 2名
- ・「中部の植物観察③」阿智村 1名
- ・「どんぐりをとことん極める」豊田市自然観察の森 2名
- ・「森林保全を学ぶ①」北上高緑地 1名

■専修科

◇担当 スタッフ（3名）

◇実施内容

- ・全科目一括受講希望者が定員（20名）を初めて上回った。21名全員が一括受講者でまとまりがあり、スムーズな運営ができた。
- ・計画通り合計9講座、13日の講座を開催した。（内1泊講座2回）
- ・これまでにはなかった新しい分野の講座も組み込んだ。どの講座も受講生の評価は良かった。→「アリの不思議な生態」「地質と植生の関係」「霊長類の進化と多様性」
- ・今までは基礎科や高等科と合同でガイドイヤホンを使用していたが、今年度より専修科専用のガイドイヤホン（新型）を購入し、講座日が重なってもガイドイヤホンを使用できる環境が整った。（新しいタイプの小型イヤホンだが、問題なく使用できた。）

広報

◇担当 スタッフ（4名）、サポート隊（4名）

サポート隊及び他のスタッフとの連携により「パンフレット発送」「イオン・イエローレシート活動」「環境デーなごや」などの活動に取り組むことにより、学園知名度の向上、17期生の定員確保に繋げることが出来た。

◇実施内容

《第17期生募集》

- ・17期生募集パンフレットは昨年度同様に、A4版2万部を作成し、すべてに「体験入学」のチラシと申込書を挟み込んだ。（サポート隊や他スタッフにて手作業）
- ・東海地方の公共施設などへのパンフレット発送を2回に分けておこなった。
 - 1回目（6/20）＝7,780部
 - 2回目（10/1、2）＝9,870部
- ・17期生への申込みは順調に集まり、最速の10月中旬に定員を超えた。
- ・元旦の中日新聞テレビ欄の広告は、満員御礼の内容で掲載した。
- ・体験入学も例年通り開催。●フィールド：小幡緑地 ●座学：守山スポーツセンター
 - 講師＝櫻井玲子先生（1期生）
 - 1回目＝12月3日、2回目＝1月28日

《学園広報活動》

- ・イオン・イエローレシート活動
 - 「イオン・ナゴヤドーム前店」「マックバリュー・有松駅前店」に登録し、イオン・ナゴヤドーム前店での店頭活動は10回参加。会員からのレシートの協力もあり51,900円分のギフトカードを戴き、双眼鏡や文房具などと引き換えた。
- ・9月14日に開催された「環境デーなごや」にはスタッフ7名が参加。環境教育科の協力

- を得てクイズ回答者に木の実ストラップを贈呈するなどして、当学園のPRを行った。
- ・日本自然保護協会「ネイチャーナビ」や、中日新聞「行催事案内」に「天白公園自然観察会」「学園祭」などの掲載依頼をし、数回掲載された。

② 普及啓発事業

環境教育部

■環境教育科

- ◇担当 4名
- ◇科員 41名
- ◇目的

自然の仕組みや魅力、楽しさや大切さを伝える。

◇今年度の年間目標

- ・目標① 過去の作品やその作り方手順・必要な材料などを整理して残す。
- ・目標② ワークショップの対象者の枠を広げる。
- ・目標③ 作り方指導だけではなく、素材そのものの説明や情報を伝える工夫をする。
- ・目標④ 当学園の広報に繋がる工夫を取り入れる。

◇実施内容

- ・定例活動・・・18回（第2・第4水曜日）

◇年間活動実績

参加した受託事業や行事

- 戸田川緑地「さくらまつり」 【4/20土～4/21日】
- 戸田川緑地「とだがわまつり」 【5/4土～5/5日】
- 障害者福祉施設Fit引山にて自然工作出前教室 【10/8火】参加者（21名）
- 障害者福祉施設Fit平針にて自然工作出前教室 【10/25金】参加者（16名）
- 障害者福祉施設Fit松葉公園にて自然工作出前教室 【10/28月】参加者（11名）
- 障害者福祉施設Fit千種にて自然工作出前教室 【11/7木】参加者（8名）
- 大曽根商店街七夕まつり 【7/26金・7/28日】参加者合計（201名）※7/27は台風で中止
- 戸田川「秋まつり」 【10/12土・10/13月】※台風の接近に伴い中止
- 学園祭作品展示 【11/29金～11/30土】
- なごや環境大学「共育講座」～大人が楽しく学ぶ「身近な自然」～（木の実観察と作品作り）全4回講座の企画・指導【10/31・11/7・11/14・11/28】参加者合計（63名）
- デイサービス（認知症対応）にて自然工作出前教室 【2/12水】参加者（15名）

実施した研修

- リンゴの花摘み体験 in 長野下伊那 【5/8水】
- 海賊船の見学会 【3/11水】※コロナウイルス感染拡大防止のため延期

その他

- 「環境デーなごや」で使用するアンケート回答者への参加賞として「木の実ストラップ」と「ヒマラヤスギのブローチ」を合計200個作成、提供。
- 卒業生の皆様へのプレゼントとして「ワタの種」を個包装提供。

◇目標の達成度

◆目標① 対象者の枠を広げる。

- 障害者支援施設や老人ホームでの出前教室に挑戦し、対象者の枠を広げることができた。対象者に合わせた内容、時間配分、安全管理、使用道具など工夫が必要である点を学んだ

◆目標② 作り方指導だけではなく、素材の説明や情報を伝える工夫をする。

- なごや環境大学共育講座では、森での素材採取から体験してもらう企画を立案し、身近な

素材であるドングリやマツボックリについて詳しく知ってもらうことが出来た。また、自分たちも新たな学びが多く、今後の活動に活かせる知識や技術を習得することが出来た。

◆ 目標③ 当学園の広報に繋がる工夫を取り入れる。

- ・ 環境デーなどに協力し、学園名を入れた木の実ストラップを作成。また、イベントにて作成した作品にも学園のラベルを貼って学園のPRに努めた。(初めての試み)

◆ 目標④ 過去の作品やその作り方手順・必要な材料などを整理して残す。

- ・ ある程度はまとめてあるが、手順などを改めてまとめることはできていない。担当スタッフで時間を作ってまとめると良い。(今後の課題)

◇今年度の前進面

- ・ 年度初めに掲げた目標5つを、ほぼ達成することができた。
- ・ 助成金にて 20 万円分の工具を購入していただき、作業の効率アップや作品の幅の広がりにつながった。
- ・ これまでにあまり扱っていなかった素材(ワタ)にもメンバーが興味を示し、新たな素材での新たな作品作りを、メンバー全員で楽しむことが出来ている。

◇今年度の問題点と来年度に向けての提案

- ・ 材料の保管と保存(カビ・虫食い・割れ)
→様々な情報を集め、色々な方法を試しながらベストな保存法を見つける。
- ・ 力仕事や運搬の負担(男性スタッフが1名であるため、準備の力仕事の負担が大きい)
→スタッフの補充や協力要請
- ・ サポートスタッフの指導と本番での役割
→サポートスタッフの本番のみの参加も力になりとてもありがたいが、逆に手を割く場合もあるため、できる限り事前の練習にも参加してもらえそうな仕組みを作る。

③ 調査研究事業

研究部

■ 自然観察科

レギュラーコース4年卒業制を導入し、「レギュラーコース(在籍4年以下)」と「キャリアコース(在籍5年以上)」に分割してそれぞれに運営。

レギュラーコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 2名
- ◇人数 29名
- ◇目標 お互いに学びあい知識を深める。
- ◇活動内容

・雨天による中止はあったが、ケガなどなく1年間安全に活動することができた。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ●4月 オリエンテーション・香嵐溪 | ●5月 築水の森・海上の森 |
| ●6月 竹島・トヨタの森 | ●7月 座学・伊吹山(中止) |
| ●8月 座学・(麦とホップの会) | ●9月 座学・葦毛湿原 |
| ●10月 座学・大滝溪谷 | ●11月 段戸裏谷・明德公園 |
| ●12月 定光寺 | ●1月 勅使池 |
| ●2月 座学・座学 | ●3月 座学(中止) 座学(中止) |

キャリアコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 1名
- ◇人数 26名
- ◇目標 お互いに学び合い知識を深める。
- ◇実施事項

- 4月 竜吟の森、昭和の森
- 5月 天白公園観察会、みたけの森
- 6月 定光寺、伊吹山
- 7月 天白公園観察会、海上の森
- 8月 麦とホップの会
- 9月 小幡緑地、東山植物園
- 10月 天白公園観察会、面の木
- 11月 各務野自然遺産の森、長良川ふれあいの森
- 12月 琵琶湖周辺
- 1月 受託講座下見・リハーサル
- 2月 受託講座
- 3月 多度山周辺、熱田神宮の森

◇総括

- 年間計画の作成を年初におおよそ決定し、計画通り実施できた。
- 基礎科講座の講師（解説）と天白公園自然観察会は下見を重ね、準備万端で本番をむかえることができ、当日はスムーズに進めることが出来、科員の自信につながった。

④政策についての企画提案事業

事業部

■新規事業科

◇担当 3名

◇実施内容

- ①「オータケ記念愛知県自然環境保護基金」
 - ・昨年度（3月）申請した30万円の助成金が確定し、2019/3～2020/3「環境教育科」で必要な工具（ボール盤、糸鋸など）を購入。新しい受託事業にも活かすことができた。
- ②「オータケ記念愛知県自然環境保護基金」の第2期申請
 - ・前年に引き続き「環境教育科」2020/4～2021/3の活動を対象に申請し、15万円の助成金が確定した。
- ③「トヨタ環境活動助成プログラム」にチャレンジ。2019/6に申請した。
 - ・「シニア世代の人材を活かした自然保護活動リーダーの養成」という題目で、学園事業の根幹をなす、人材育成への助成を正面から取り上げてみた。（助成申請額：94万円）
 - ・地域活動で活かせるカリキュラムを考慮した新講座の企画で申請し、1次審査は通過したが最終審査が通過できなかった。
- ④「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金交付」に森・緑の育成活動事業として森林公園整備科2020/4～2021/3の活動を対象に3/6申請をした。（助成申請額957,200円）
- ⑤ OBとのコミュニケーションとして「ケヤキ通信」にOBの地域活動情報を掲載した。
- ⑥行政とのコンタクト
 - ・愛知県環境部と「森と緑づくり交付金申請」などについて指導を受けた。

交流部

◇担当 4名

【OB交流ツアー】

「OBツアー」の実施ができなかった。

【あらくさの発行】

例年通り、高等科・基礎科の「編集委員会」メンバーの協力のもと、年4回発行した。

【クラブについて】

◇今年度の実績

- ① 各クラブが年初の計画通り順調に運営され、事故やトラブルなど無く活動できた。
- ② 新クラブ「プチ・トレッキングクラブ」が発足され、「ふふふキラキラクラブ」は、今年度をもって活動終了することが決定した。（全10クラブ）
- ③ 学園祭には9つのクラブがブース出展で参加し高評を得た。

④ 7月31日(水)クラブ長会議を開催し、各クラブ長からの意見・提案等協議した。

◇目標と達成

会員数の増加に伴いクラブの増加を模索したが出来なかった。

◇来年度の向けの改善策

新規クラブの立ち上げをPRし、クラブ増加を推進する。

◇各クラブの活動報告

「野鳥クラブ」

●クラブ長 榊原 孝雄(12期) 登録人員 39名 会費 1,000円/年

●活動方針

- ・探鳥会を年に四回開催を計画する、
- ・野鳥観察への興味を深めるため、座学1回開催する、
- ・秋の学園祭にクラブとして参加する、
- ・クラブ員同士の親睦を深める、

●活動内容

- ・5/16「大池公園」17名参加 ・8/7「座学～野鳥の羽～」25名参加
- ・11/29～30「学園祭」 ・12/8「牧野ヶ池」16名参加 ・1/21「善師野」16名

「写真クラブ」

●クラブ長 嶋田 茂雄(9期) 登録人員 49名 会費 1,000円

●活動方針

- ・自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動内容

- ・4/10「東山動植物園内植物会館」35名参加 ・7/3「初歩の写真教室」17名参加
- ・7/29「伊吹山」21名参加 ・8/28「作品勉強会と懇親会」27名参加
- ・9/30「常滑撮影会」20名参加 ・10/9「互選会とグリーンピア春日井」22名参加
- ・11/29「学園祭」32枚作品展示 ・12/4「明治村」30名参加

「自然体験クラブ」

●クラブ長 長田 孝義(12期) 登録人員 63名 会費 1,000円

●活動目的

- ・自然の中で遊び・学び、自然への理解を深め、或いは歴史・文化に触れることを通じて、豊かな人間性、心のかよった人と人のつながりを創り、人と自然が共存する文化・社会の意識を高めることを図る。

●活動方針

- ・様々な自然の中で遊び、自然を分かち合う、
- ・野菜・山菜・木の実・魚介類等の自然の恵みに感謝する、
- ・歴史・文化・自然に関する史跡・遺産等の訪問、
- ・その他目的を達成するための活動、

●活動内容

- ・4/18「総会と陶磁美術館」36名参加 ・9/19「西村自然農園」37名参加
- ・11/2「谷汲山華厳寺・徳山ダム」40名参加 ・2/6「御在所岳」39名参加

「地質クラブ」

●クラブ長 福岡 潔(8期) 登録人員 72名 会費 1,000円

●活動方針

- ・近隣の地質の成り立ちその影響を観察する。

●活動計画

- ・年4回近隣の地質、地層を現地観察する、
- ・博物館を訪問し、岩石や化石の勉強をする。

●活動内容

- ・7/3「佐久島のジオサイトを訪ねる」41名参加
- ・10/22～23「南の島からやってきた伊豆火山半島の地質巡検」33名参加

- ・1/22「カルデラ噴火と中央構造線を体験する奥三河の旅」54名参加

「植物クラブ」

●クラブ長 加藤 久盛（14期） 登録人員106名 会費1,000円

●活動方針・目標

- ・全員が観察会（年8回）へ参加し会員相互の友好を深める、
- ・自然とふれあい、自然を楽しむので、「自然大好き」とした、

●活動内容

- ・4/24「藪原宿・奈良井宿」53名参加
- ・5/15「海上の森」60名参加
- ・6/14「飛騨小坂巖立公園」44名参加
- ・7/5「白馬五竜高山植物園」46名参加
- ・8/6「八島湿原」45名参加
- ・9/30「釜戸」56名参加
- ・11/8「山門水源の森」69名参加

「植物アートクラブ」

●クラブ長 松崎 隆（13期） 登録人員23名 会費1,000円（他に画材の花代2,000円）

●活動方針・目標

- ・植物を描くことにより、植物の観察力を高め、理解を深める。東海自然学園の卒業生らしい絵が描けるよう努力する。
- ・絵を描くことに基礎はありません。絵を描きたいという気持ちが基礎です。従って描いた絵の評価は自分自身でしか出来ません。完成した絵は、毎日見ているの事を考え、感じて楽しむことです。

●活動内容

- ・毎月第4木曜日に定期的に活動する。
- ・植物の特徴をとらえ、それを描くことにより表現の楽しさを知る。
- ・毎回、係の部員が出席者分の花材を購入し同じ種類の花の絵を描く。
- ・全員の作品を鑑賞し、講師の講評・助言を通し作品の質を高め、また親睦を図る。
- ・学園祭において作品の展示とワークショップを行う。

●活動状況

- 4/25「スカシユリ・キンレンカ」 5/23「東山植物園野外活動」・懇親会
 6/27「ヒマワリ」 7/25「各自用意」 8/22「各自用意」
 9/26「ホトトギス・デンファレ」 10/9なばなの里懇親会
 10/24「フウセントウワタ・アカリンドウ」 11/28「ブルースター・カンガルーポー」
 11/29.30.学園祭（作品展示とワークショップ）
 12/26「センリョウ・マトリカリア」 1/23「各自用意」・新年会
 2/27「各自用意」 3/26中止（メールにて総会議案承認）

「ふふふ キラキラクラブ」

●クラブ長 清水 修（7期） 登録人員44名 会費1,000円

●活動目標

- ・活動の目的であります『ふふふ』の笑顔を持って会員相互の交流と親睦をはかり、『キラキラ』と輝く人生を見つけましょう。

●活動方針

- ・自然を愛し、自然から何か感動を受け、その感動を分かち合う。

●活動内容

※平成24年度より発足し、多くの仲間と共に様々な場所で自然や食を楽しみながら親睦を深め、感動や笑顔を分かち合ってきたが、今年度をもって「ふふふキラキラクラブ」を終了する。

「自然句詠クラブ」

●クラブ長 深見 秋男（11期） 登録人員21名 会費1,000円

●活動方針

- ・自然を愛（め）で、その感動を575（俳句）に表現し楽しむ。
- ・メンバー全員が何らかの役割を担い、クラブの運営に主体的に参画する。

●活動目標

- ・月1回（月末）、句を持ち寄り句会を実施する（互いに講評し合う）、
- ・句会実施日に終了後、希望者で反省懇親会を実施する、
- ・句会のうち、年2回程度、吟行（現地に赴き作句し句会を実施）を行う、
- ・一年のまとめとして句集を編集する。

●活動内容

句会※会場はいずれもイーブル名古屋

- ・58回 4/22 参加 12名
- ・59回 5/28 参加 16名
- ・60回 6/25 参加 16名
- ・61回 7/31 参加 13名
- ・62回 8/29 参加 17名
- ・64回 10/29 参加 18名
- ・65回 11/26 参加 15名
- ・66回 12/25 参加 17名
- ・67回 1/30 参加 18名
- ・68回 2/28 参加 14名。

※吟行 63回 11/26 有松町・参加 16名

※吟行 69回 3/31 鶴舞公園・中止

※句集作り 3/24 イーブル名古屋・中止

「湿地クラブ」

●クラブ長 原田 誠（9期） 登録人員 33名 会費 1,000円

●活動目標

- ・「北山湿地」湿地定点観察会（湿地動植物および昆虫）
- ・その他観察会
- ・湿地整備体験活動

●活動内容

- ・4/17「北山湿地」22名参加
- ・6/28「北山湿地」18名参加
- ・7/3「山室湿地及び地藏川」19名参加
- ・8/29「猪高緑地」11名参加
- ・10/28「北山湿地」15名参加
- ・12/6「北山湿地整備体験」11名参加
- ・1/22「岡崎公園」18名参加

「ハイキングクラブ」

●クラブ長 栗田 博之（13期生） 登録人員 67名 会費 1,000円

●活動方針

- ・自然観察及び散策、町の歴史探訪を通して自然や歴史にふれあい知識を高める。
- ・体力の維持及び増進。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動計画

- ・6/20「常滑やきもの散策」38名参加
- ・9/12「関ヶ原古戦場」41名参加
- ・11/21「美濃うだつの町並みと大矢田神社の紅葉」33名参加

「プチ・トレッキングクラブ」

●クラブ長 鈴木 行薫（15期） 登録人員 106名 会費 1,000円

●活動目標

- ・軽易なトレッキングを通して、自然に親しみ会員相互の研鑽と親睦を図る。

●活動内容

- ・1/16「京都一周トレイル東山コース」50名参加
- ・2/21「奈良・山の辺の道」59名参加

⑤自然環境保全事業

自然保護部

■森林公園整備科

- ◇活動日 第2・第4木曜日
- ◇科員数 30名
- ◇年間活動日 12日（新型コロナウイルスの感染拡大に伴い1～3月の活動は中止）

◇活動実績

整備地（8.2ha）の内A地区で森林整備活動を実施

◇活動内容

- ・ 6月2日の植樹祭に、科員10名が参加した。
- ・ 2月4日の「県有林の森づくり活動情報交換会」に、2名が参加した。
- ・ 現在の整備地区は、急な斜面と滑り易いシルト層であるが、ケガなく活動ができた。
- ・ 作業前に安全マニュアルを全員で繰り返し読み合わせし、ヒヤリハットの掘り起こし活動を毎回行い、危険の事前摘発及び科員の安全意識の徹底で安全な作業を心掛けた。
→例えば、一日当たり危険の事前摘発が1.73件、注意喚起が1.55件報
- ・ 植生調査のまとめを各班で実施し、今回一つの班であるが樹冠投影図まで作成させ、学園祭で発表することができた。

◇来年度の課題

- ・ 安全な作業は最大の課題であり、安全マニュアル読み合わせの継続と、ヒヤリハット活動の広がりを行いたい。
- ・ 観察会の案内を特定の人以外にもお願いし、回数を増やしたい。
- ・ 植生調査の勉強会を行い、整備活動に活かしたい。

■瀬戸里山整備科

事故の無い安全作業を最優先し、科員の増員を目標にした。

学園祭で、瀬戸里山整備科の歴史や活動報告を展示し広報した。

体験整備には7名の申し込みがあり、参加された5名が入会。更に新年度より2名が入会した。

◇担当 2名

◇登録者 24名

◇活動場所 瀬戸市曾野町

◇実施日 第3土曜日、但し雨天の場合は、予備日第4土曜日

◇年間活動日 11日（述べ参加人数153名）

◇活動内容

- ・ 総会で年間計画を立て概ね実施できた。
- ・ 安全を第一とする中で骨折するという事故が発生した。事故後、除伐作業安全マニュアルを改善し、作業前に読み合わせを実施開始。
- ・ 作業場に入退場する時に「ご安全に」と挨拶をし安全作業を喚起するようにした。
- ・ 体験入学は1名あり、その方が入会された。
- ・ 作業場の危険な枯れ木を会費で伐採を行い危険作業の回避ができた。
- ・ 学園祭委員を選任して、学園祭に立派な展示が出来た。
（新規に竹の行灯出展）
- ・ 年末の「門松づくり」は普段の作業では味わえない楽しみがあり家族にも好評だった。また科員拡大の一つにもなった。

⑥その他目的を達成するために必要な事業

該当事業なし

<第2号議案> 2019年度収支決算報告

2019年度(第13期)活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金額(単位:円)		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	125,000		年会費(25名 * 5千円)
利用会員受取会費	1,446,000	1,571,000	年会費(482名 * 3千円)
2 受取寄付金	440,100	440,100	あいおい損保(39万円)、個人
3 受取助成金	200,000	200,000	オータケ記念基金
4 事業収益			
自然活動リーダー養成講座事業収益	10,899,745		受講料、参加費等
普及啓発事業収益	315,500		受託料等
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	0		
自然環境保全事業収益	0		
その他目的達成するための事業収益	0	11,215,245	
5 その他収益			
受取利息	125	125	
経常収益計			13,426,470
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,688,600		
通勤手当	113,660		
法定福利費	587,739		
人件費計	4,389,999		
(2) その他経費			
講師謝礼金	1,751,000		
教材費	156,167		
会場費	562,478		
広報費	462,000		新聞広告の掲載費
リーフレット代	331,560		パンフレット(2万部)
講師交通費	75,822		
スタッフ交通費	1,770,703		
消耗品費	397,400		
家賃	960,000		事務所家賃
接待交際費	11,400		手土産他
水道光熱費	84,838		
コピー機維持費	231,588		
保険料	409,270		NPO活動総合保険
通信運搬費	903,234		郵送費、通信費
諸会費	0		
雑費	116,172		修学旅行バスキャンセル料等
その他経費計	8,223,632		
事業費計		12,613,631	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	166,400		
退職給付費用	750,000		
福利厚生費	14,844		
人件費計	931,244		
(2) その他経費			
セキュリティ料	101,070		
旅費交通費	960		
事務用品費	21,816		
租税公課	600		
支払手数料	81,550		
事務所移転費	116,640		
雑費	32,400		
その他経費計	355,036		
管理費計		1,286,280	
経常費用計			13,899,911
当期経常増減額			△ 473,441
III 経常外収益			0
IV 経常外費用			0
当期正味財産増減額			△ 473,441
前期正味財産額			8,443,750
次期繰越財産額			7,970,309

2019年度(第13期)貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金 額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	20,864,260		
前払金	52,875		
立替金			
流動資産合計		20,917,135	
資産合計			20,917,135
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	323,085		
前受金	11,860,000		
預り金	13,741		
流動負債合計		12,196,826	
2 固定負債			
退職給付引当金	750,000		
固定負債合計		750,000	
負債合計			12,946,826
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		8,443,750	
当期正味財産額		△ 473,441	
正味財産合計			7,970,309
負債及び正味財産合計			20,917,135

2019年度(第13期)財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金 額(単位:円)
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	現金手元有高 268,902
普通預金	三菱東京UFJ銀行植田支店 6,895,680
普通預金	ゆうちょ銀行 11,695,714
定期預金	三菱東京UFJ銀行植田支店 2,003,964
前払費用	次年度会場費等 52,875
立替金	
流動資産合計	20,917,135
資産合計	20,917,135
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	3月分給与・社会保険料・交通費等 323,085
前受金	次年度分受講料、年会費、助成金 11,860,000
預り金	源泉所得税 13,741
流動負債合計	12,196,826
2 固定負債	
退職給付引当金	750,000
固定負債合計	750,000
負債合計	12,946,826
正味財産合計	7,970,309

2019年度(第13期)財務諸表の注記

特定非営利活動法人東海自然学園

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日、2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)による

2 事業費等の内訳

(金額単位:円)


科目	自然活動 リーダー養成 講座	普及啓発事 業	調査研究 事業	政策について の企画提案事 業	自然環境保 全事業	その他目的 達成するた めの事業	事業部門計	管理部門	合計
(1) 人件費									
給料手当	2,950,880	442,632	36,886	221,316	36,886	0	3,688,600	166,400	3,855,000
通勤手当	90,928	13,639	1,137	6,820	1,137	0	113,660		113,660
法定福利費	470,191	70,529	5,877	35,264	5,877	0	587,739		587,739
退職給付費用							0	750,000	750,000
福利厚生費							0	14,844	14,844
人件費計	3,511,999	526,800	43,900	263,400	43,900	0	4,389,999	931,244	5,321,243
(2) その他の経費									
講師謝礼金	1,631,000	118,400	200	1,200	200		1,751,000		1,751,000
教材費	132,240	23,927			0		156,167		156,167
会場費	545,618	16,860	0	0	0		562,478		562,478
広報費	369,600	55,440	4,620	27,720	4,620		462,000		462,000
リーフレット代	265,248	39,787	3,316	19,894	3,316		331,560		331,560
講師交通費	75,410	247	21	124	20		75,822		75,822
スタッフ交通費	1,736,713	33,990					1,770,703		1,770,703
活動交通費(バス代)	78,298	11,745	979	5,872	978		97,872		97,872
消耗品費	317,920	47,688	3,974	23,844	3,974		397,400	21,816	419,216
諸会費	0	0	0	0	0		0		0
家賃	768,000	115,200	9,600	57,600	9,600		960,000		960,000
接待交際費	9,120	1,368	114	684	114		11,400		11,400
水道光熱費	67,870	10,181	848	5,090	848		84,838		84,838
コピー機維持費	185,270	27,791	2,316	13,895	2,316		231,588		231,588
保険料	327,416	49,112	4,093	24,556	4,093		409,270		409,270
通信運搬費	722,587	108,388	9,032	54,194	9,032		903,234		903,234
セキュリティ費用								101,070	101,070
福利厚生費								14,844	14,844
交通費								960	960
租税公課								600	600
支払手数料								81,550	81,550
事務所移転費								116,640	116,640
雑費	14,640	2,196	183	1,098	183		18,300	32,400	50,700
その他経費計	7,246,951	662,320	39,296	235,771	39,294	0	8,223,632	369,880	8,593,512
経常費用計	10,758,950	1,189,119	83,196	499,171	83,194	0	12,613,631	1,301,124	13,914,755
参考(配布率)	0.8000	0.1200	0.0100	0.0600	0.0100	0	1.00		

2020年6月4日

特定非営利活動法人東海自然学園

代表理事 横井 進 殿

監事

大熊 琢巳 

監査報告書

2019年4月1日から2020年3月31日までの、2019年度における業務執行並びに財産及び会計の状況について、特定非営利活動促進法の定めるところにより、同法第18条並びに定款第15条の定めによって監査を行いましたので、下記の通り監査結果を報告します。

記

事業報告・活動計算書・貸借対照表・財産目録及び会計諸帳簿類を精査した結果、経理処理・財産運用及び用途については、いずれも適正であり、業務については当初の目的を概ね達成できたことを認めました。

以上

2020年度事業計画

(2020年4月1日～2021年3月31日)

【2020年度方針】

◎講座や活動の充実度を保ちながら、安全に活動できる新スタイルを築く

今年度は新型コロナウイルスの発生により、通常通りの講座や活動ができない状況にある。そんな中でも講座や活動の基盤を崩さず、皆の安全を最優先しながら新たなスタイルを築き、魅力を絶やさない講座や活動を継続する。

【新型コロナウイルス拡大防止について】

現段階での判断として、9月末までは全活動を休止し10月の再スタートを予定しているが、今後の情勢により、予定通りの活動再開が困難となる場合も予想される。慎重に検討し再開を判断するため、下記の講座・部・科、クラブの諸活動も流動的であることをご理解下さい。

① 自然活動リーダーの養成講座事業

東海シニア自然大学 講座部

■基礎科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。
- ・合宿を含め、講師やフィールドの変更が必要な科目は全担当スタッフで事前に下見や打ち合わせをし、スムーズに当日が迎えられよう進める。
- ・進路説明のタイミングや方法を工夫し、高等科への進学率を高める。

◇担当 8名 (+アシスタント4名)

◇人数 全72名 (2クラス)

◇実施日 年間30日間 (隔週金曜日)

◇計画内容

- ・年間カリキュラムの運営・進行・安全管理。
- ・学園祭に向けてクラスの取り組み。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

■高等科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。
- ・講師と事前に打ち合わせをし、フィールドや時間配分などの改善を提案しながら進めていく。

◇担当 5名

◇人数 33名

◇実施日 火曜日 (不定期)

◇計画内容

- ・年間30日間のカリキュラムの実施。
- ・学園祭に向けて、クラスの取り組みを支援するとともに基礎科への支援。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

■カリキュラム選択科

- ・高等科受講生を含め40名を最大人数とし、それ以上の希望がある場合は抽選とする。

■専修科

- ・年間カリキュラムのスムーズな進捗に努める。
- ・講座参加の機会に受講生間の親睦と情報交換の場を積極的に作る。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善、見直しを行う。
- ・新講師、新講座の可能性を常に模索し、講座内容の新鮮化に心がける。

- ◇担当 3名
- ◇定員 各20名（一部17名）
- ◇実施日 年間9講座（13日）

広報

- ◇担当 スタッフ（4名）、サポート隊（3名）
- ◇方針 積極的に新しい広報策を模索し実施する。
- ◇目標 他の科等との連携を強化し、定員72名確保を目指す。
- ◇計画内容

- ①新年度の活動開始時期に適応できる広報計画を策定する。
- ②募集パンフレットの発行数の検討・デザインの見直しを行う。
- ③メディアに投稿・取材依頼等を積極的に行う。
(新聞社・テレビ局・ケーブルテレビ局等)
- ④イオン・イエローシートのキャンペーン活動に参加する。
- ⑤体験入学の実施。(年間2回)
- ⑥サポート隊との連携を図る。

② 普及啓発事業

環境教育部

■環境教育科

- ◇担当 4名
- ◇人数 42名
- ◇方針

社会貢献することを目的とし、様々なインタープリテーション技術の取得、向上を目指す。
また、利益を追及する事業のみではなく、利益につながらなくとも自身の向上や社会貢献価値のある事業を実施する。

◇今年度の目標

- ・目標① 新しい自然素材を取り入れた作品作りや保存方法の研究に挑戦する。
- ・目標② 多様な対象者に分かりやすく伝え、安全に作成するための方法や道具を考案する。
- ・目標④ 当学園の広報に繋がる工夫を取り入れる。

◇計画内容

- 毎月2回（第2、第4水曜日）の定例活動。
- 受託事業や地域の施設などでの出前教室など。

③ 調査研究事業

研究部

■自然観察科

自然観察と自然に関する座学テーマについて、自分自身の学習意欲を高め、(リーダーとして)社会貢献することを目的に、それぞれのコースにて学習・研究・実践を行う。

レギュラーコース

- ◇担当 3名
- ◇人数 36名
- ◇目標 お互いに学びあい知識を深める。
- ◇計画内容

- 毎月、第2・第4月曜日を定例活動日とし、座学発表や野外での自然観察を行う。

キャリアコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 1名
- ◇人数 27名
- ◇目標 お互いに学び合い知識を深める。自然観察科の目的である自分自身の学習意欲を高め社会貢献できるよう年間計画を立て、学習実践する。

◇計画内容

- 毎月第2・4月曜日の定例活動(座学と野外実習)を行う。
- 天白公園にて季節の自然観察会(下見含め)を実施する。
- 基礎科の講座「冬の森観察」にて講師(観察指導)を務める。

④政策についての企画提案事業

事業部

■新規事業科

- ◇担当 4名
- ◇内容

1. 「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」交付金957千円での活動実施
 - ・事業名：生物多様性に配慮した森の整備活動(森林公園整備科の活動)
 - ・事業期間：2020年5月～2021年1月31日
 - ・本事業は令和10年まで継続予定であり、学園も次年度以後の継続申請を検討。
2. 行政とのコミュニケーション強化
 - ・学園の活動を市や県の担当者にPR
 - ・助成金に関わる情報や企業との協働に関わる情報などを収集し、今後の活動に繋げる
3. 第2回 OB意見交換会の実施
(第1回：2018.9.18実施 参加者：35名(OB+SF))
 - ・新講座に関する意見吸い上げ、OBからの要望など自由な意見交換。

交流部

- ◇担当 4名
- ◇年間目標

- ・OB会員の活性化、親睦を目的とした企画を考案し実施する。
- ・クラブが安全、健全に実施されるよう活動を把握し助言する。

◇実施内容

- ・OB旅行を企画実施する。

- ・クラブ長会議を開催する。
- ・新たなクラブ設立を呼びかけ、クラブを増やす。
- ・「あらくさ」を年間4回発行する。

◇各クラブの活動計画

※新型コロナウイルスの影響により、下記クラブ活動の計画に中止や変更が予想される。

「野鳥クラブ」

●クラブ長 波多野 桂一（14期） 登録人員34名 会費1,000円/年

●活動方針

- ・探鳥会を年に四回開催を計画する。
- ・野鳥観察への興味を深めるため、座学1回開催する。
- ・秋の学園祭にクラブとして参加する。
- ・クラブ員同士の親睦を深める。

●活動計画

- ・第1回 探鳥会 12月頃 名城公園（庄内緑地公園）
- ・第2回 探鳥会 1月頃 藤前干潟
- ・第3回 探鳥会 3月頃 勅使池
- ・第4回 探鳥会 5月頃 海上の森
- ・第5回 座学（野鳥講座）8月頃 西生涯学習センター
- ・第6回 総会 9月頃 場所未定

「写真クラブ」

●クラブ長 嶋田 茂雄（9期） 登録 42名 会費1,000円

●活動方針

- ・自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動計画

- ・毎月1回の活動を計画
（※4月～9月の計画は新型コロナウイルスの影響で中止。10月以降の計画も変更あり）
- ・4月 総会
- ・5月 浜松フラワーパーク撮影会（撮影方法講習会あり）
- ・6月 写真教室・勉強会（教材を用いての解説及び様々な写真のお話）
- ・7月 1泊撮影会（姫川源流探勝園散策と撮影、白馬五竜高山植物園内撮影会）
- ・8月 第3回「東海自然学園写真クラブ写真展」
- ・9月 醒ヶ井水中花（バイカモ）と水の都大垣町並み撮影会
- ・10月 徳山ダム湖上遊覧船からの風景撮影会
- ・11月 勉強会
- ・12月 犬山寂光院紅葉撮影と日本モンキーセンター園内撮影
- ・3月 近江八幡・八幡堀撮影会

「自然体験クラブ」

●クラブ長 服部 裕康（12期生） 登録人員（71名） 会費1,000円

●活動目的

自然の中で遊び・学び、自然への理解を深め、或いは歴史・文化に触れることを通じて、豊かな人間性、心のかよった人と人のつながりを創り、人と自然が共存する文化・社会の意識を高めることを図る。

●活動方針

- ・様々な自然の中で遊び、自然を分かち合う。
- ・野菜・山菜・木の実・魚介類等の自然の恵みに感謝する。
- ・歴史・文化・自然に関する史跡・遺産等の訪問。
- ・その他目的を達成するための活動。

●計画内容

- ・第3木曜日を基本の活動日として下記を計画。

(※4月～9月の計画は新型コロナウイルスの影響で中止。10月以降の計画も変更あり)

- ・5/19 (火) 総会・堀川の川下り
- ・9/17 (木) ヤナでアユ料理・草木染体験
- ・11/19 (木) 掛川花鳥園・掛川城
- ・1/21 (木) 志多見古墳群・フルーツパーク
- ・3/18 (木) 幸田本光寺の椿園・竹島水族館
- ・5/20 (木) 総会・堀川の川下り
- ・9/16 (木) 西村農園で野草積みと郷土料理

「地質クラブ」

●クラブ長 福岡 潔 (8期生) 登録人員 (98名) 会費 1,000円

●活動方針

- ・近隣の地質の成り立ちその影響を観察する。

●計画内容

- ・年4回近隣の地質、地層を現地観察する。(※変更の可能性あり)
- ・青塚古墳と犬山・鶉沼の木曾川兩岸のチャートの観察
- ・瑞浪化石博物館と土岐川河畔の化石採集
- ・三重県の中央構造線と水銀鉱山の観察
- ・東尋坊とその周囲の岩石観察

「植物クラブ」

●クラブ長 霜 桂子 (15期生) 登録人員 (92名) 会費 1,000円

●活動方針・目標

- ・植物の魅力と感動を共有
- ・東海シニア自然大学で学んだ植物好きな仲間が集まって「中部・東海の植物の魅力と感動」を共有し、植物クラブの枠を超え多くの人に伝播して自然保護や保全に関心を持つ仲間の輪を広げていくことを目指す。

●活動計画

7回の観察会を実施予定。実施日は活動期間に応じて再設定し、場合によっては実施場所も見直すものとする。

- ・「海上の森観察会」(4/17) ・「みたけの森観察会」(6/10)
- ・「京都植物園・竹田薬用植物園観察会」(7/10) ・「鳥居峠観察会」(9/10)
- ・「明智の森観察会」(9/18)
- ・「越前町立福井総合植物園観察会」(10～12月) ・「東山植物園観察会・総会」(3月)

「植物アートクラブ」

●クラブ長 松崎 隆 (13期生) 登録人員 (21名) 会費 2,000円

●活動方針・目標

- ・植物を描くことにより、植物の観察力を高め、理解を深める。東海自然学園の卒業生らしい絵が描けるよう努力する。
- ・絵を描くことに基礎はありません。絵を描きたいという気持ちが基礎です。従って描いた絵の評価は自分自身でしか出来ません。完成した絵は、毎日見ているいろいろなことを考え、感じて楽しむことです。

●活動内容

- ・植物の特徴をとらえ、それを描くことにより表現の楽しさを知る。
- ・月毎の課題に沿って作品を仕上げる。
- ・全員の作品を鑑賞し、講師の講評・助言を通し作品の質を高め、また親睦を図る。
- ・学園祭において作品の展示とワークショップを行う。

●活動計画

- ・日程 毎月第4木曜日
10/22、11/26、12/24、1/28、2/25、3/25、4/22、5/27、6/24、7/22、8/26、9/16
- ・主な活動場所「名古屋市福祉会館」

「自然句詠クラブ」

●クラブ長 深見 秋男（11期生） 登録人員（20名） 会費1,000円

●活動方針・目標

- ・自然を愛（め）で、その感動を575（俳句）に表現し楽しむ。
- ・メンバー全員が何らかの役割を担い、クラブの運営に主体的に参画する。

●活動計画

- ・月1回（月末週）句を持ち寄り句会を実施する（お互いに評価し合う）
- ・句会実施日に終了後、希望者で反省懇親会を実施する。
- ・句会のうち年2回程度、吟行（現地に赴き作句し句会を実施）。
- ・句会に年2回ほど講師を招き指導を受けレベル向上をめざす。
- ・1年の纏めとして句集を編集する。

「湿地クラブ」

●クラブ長 小沢 球一（10期生） 登録人員（24名） 会費1,000円

●方針・目標

- ・観察会等を通して湿地に生息する動植物にふれあい会員の研鑽と親睦を図る

●活動計画

- ・10/5「小幡緑地」 ・2月「藤前干潟」 4,5,7月「葦毛湿原」

※その他は未定

「ハイキングクラブ」

●クラブ長 栗田 博之（13期生） 登録人員（73名） 会費1,000円

●活動方針

- ・自然観察及び散策、町の歴史探訪を通して自然や歴史にふれあい知識を高める。
- ・体力の維持及び増進。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動計画

- ・10/3（土） 東区文化の道散策 ・12/12（土） 岡崎城と城下町ハイキング
- ・2/21（日） 佐久島ハイキング ・3/6（土） 碧南大浜てらまちハイキング

「プチ・トレッキングクラブ」

●クラブ長 鈴木 行薫（15期生） 登録人員（90名） 会費1,000円

●活動目標

- ・軽易なトレッキングを通して、自然に親しみ会員相互の研鑽と親睦を図る。

●活動計画（※予定変更の可能性あり）

- ・10月 中山道（馬籠～妻籠） ・11月 京都一周トレイル（大原～鞍馬～貴船）
- ・1月 満観峰（静岡・焼津） ・3月 文珠山（福井）
- ・4月 大文字山（京都） ・5月 城山（木曾福島）
- ・6月 天生湿原（岐阜・白川郷） ・8月 梅池自然園と塩の道（長野）

⑤自然環境保全事業

自然保護部

■森林公園整備科

◇活動日 毎月第2・第4木曜日

◇科員数 33名

◇活動計画

●A地区で植生調査実施及び森林整備活動を継続

●活動内容

- ・班単位で植生調査結果に基づいた森林整備計画を作成
- ・整備計画に沿い、且つ修正しながら伐採を実施

- ・整備地内の植生観察を班単位で実施
- ・植生調査内容発表等で学園祭に参加
- ・高等科の講座実習を受け入れ
- ・科員の交流・親睦を深める
- ・第70回全国植樹祭へボランティア参加

●安全への取り組み

- ・安全作業マニュアル読み合わせによる周知徹底継続
- ・ヒヤリハット運動を展開

■瀬戸里山整備科

年間計画をリーダーを中心として作成し、竹林部分、雑木林部分の作業日を意識して設定し実施する。急斜面の作業が多いため、安全作業を最優先としていく。

◇担当 2名

◇登録人数 26名

◇実施日 第3土曜日、但し雨天の場合は、予備日第4土曜日

◇活動場所 瀬戸市曾野町

◇活動内容

- ① 安全作業を最優先し、事故のない1年を目標とする
- ② マニュアルの読み合わせ、ヒヤリハットの作業前後の徹底
- ③ 竹林ではタケの年度別表示を継続、雑木の除伐を行なう。
- ④ 科員増員の広報活動を行なう・・・ケヤキに投稿・タケノコ堀・門松づくり
- ⑤ 学園祭(係)委員を任命し、参加を全体の課題とする
- ⑥ 定点観測を継続し、作業の進捗状況、整備後の成果を行なう
- ⑦ 懇親会を実施し科員の交流を深める

⑥その他目標を達成するために必要な事業

該当事業計画なし

2020年度活動予算書
(2020年4月1日から2021年3月31日)

(単位:円)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			正会員 26名 利用会員501名
正会員受取会費	130,000		
利用会員受取会費	1,503,000	1,633,000	
2. 受取寄付金			
受け取り寄付金	150,000	150,000	
3. 受取助成金収入			
受け取り助成金	150,000	150,000	
4. 事業収入			前期受講料
自然活動リーダー養成講座授業収益	5,000,000		
普及啓発事業収益	0		
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	50,000		
自然活環境保全事業収益	0		
その他事業収益		5,050,000	
5. その他収益			
雑収入	0		
受取利息	0	0	
経常収益計			6,983,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,670,000		
通勤手当	144,000		
法定福利費	600,000		
人件費計		4,414,000	
(2) その他経費			
謝礼金	1,000,000		
教材費	120,000		
会場費	280,000		
広報費	600,000		
リーフレット代	370,000		
講師交通費	70,000		
スタッフ交通費	870,000		
バス代	50,000		
消耗品費	330,000		
雑費	20,000		
家賃	960,000		
接待交際費	20,000		
水道光熱費	85,000		
コピー維持費	300,000		
保険料	400,000		
通信運搬費	900,000		
諸会費	10,000		
研修費	10,000		
その他経費計		6,395,000	
事業費計			10,809,000
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	179,200		
退職給付費用	50,000		
福利厚生費	15,000		
人件費計		244,200	
(2) その他の経費			
セキュリティ料	100,000		
事務用品費	10,000		
租税公課	1,000		
支払手数料	85,000		
雑費	10,000		
その他経費計		206,000	
管理費計			450,200
経常費用計			11,259,200
当期経常増減額			▲ 4,276,200
III 経常外収益			0
IV 経常外費用			0
当期正味財産増減額			▲ 4,276,200
前期繰越正味財産額			7,970,309
次期繰越正味財産額			3,694,109

2020年度(R2年度)累計予算実績対比(総会参考資料)

作成2020.5.29

勘定科目	H28年度予算	H28年度実績	H28年予算対比	H29年度予算	29年度実績	H29年度実績対比	H30年度予算	H30年度実績	H29年度実績対比	H30年度予算	H30年度実績	H29年度実績対比	H30年度予算	H30年度実績	H29年度実績対比	H31年度予算	H31年度実績	H30年度実績対比	H31年度予算	H31年度実績	H30年度実績対比	H31年度予算	H31年度実績	H30年度実績対比	H32年度予算	H32年度実績	H31年度実績対比	R2年度予算	R2年度予算作成摘要								
売上高(経常収益)																																					
受取会費	1,267,000	1,300,000	33,000	1,368,000	1,371,000	3,000	1,450,000	1,480,000	109,000	30,000	1,568,000	1,571,000	▲3,000	▲3,000	1,633,000	1,633,000	正会員28名・利用会員501名																				
受取寄付金	400,000	422,398	22,398	350,000	517,786	167,786	400,000	2,117,414	1,599,628	1,717,414	200,000	400,000	200,000	▲200,000	400,000	400,000	1,677,314	▲40,100	1,500,000	1,500,000	あいおい損害保株他																
受取助成金	500,000	411,578	▲88,422	370,000	370,000	0	0	0	▲370,000	0	200,000	200,000	▲200,000	200,000	200,000	200,000	1,500,000	▲1,500,000	5,000,000	5,000,000	「オーストラリア」基金																
自然活動リード一環監収収益	9,586,000	9,692,290	38,230	9,619,000	9,872,473	253,473	10,561,000	10,531,700	895,227	▲35,300	10,775,000	10,899,745	▲368,045	▲124,745	5,000,000	5,000,000	環境生100名・研修料・選科料																				
普及啓発事業収益	350,000	436,633	86,633	350,000	333,500	▲16,500	300,000	258,700	▲14,800	▲41,300	250,000	315,500	▲56,800	▲65,500	0	0	ネット参加費																				
調査研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
合宿費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
政策企画提案事業収益	0	52,853	52,853	0	53,668	53,668	50,000	0	▲3,668	▲50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
自然活動保全事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
受取利息	2,000	703	▲1,297	1,000	706	▲294	0	277	▲429	277	0	125	152	▲125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
売上高合計	12,115,000	12,256,395	141,395	12,058,000	12,519,133	461,133	12,767,000	14,468,201	1,868,958	1,621,091	13,243,000	13,426,470	961,621	▲183,470	6,983,000	6,983,000																					
売上総損益金額	12,115,000	12,256,395	141,395	12,058,000	12,519,133	461,133	12,767,000	14,388,091	1,868,958	1,621,091	13,243,000	13,426,470	961,621	▲183,470	6,983,000	6,983,000																					
販売管理費(経常費用)																																					
給与手当	3,600,000	3,564,200	▲35,800	3,550,000	3,509,200	▲40,800	3,570,000	3,528,400	19,200	▲41,600	3,670,000	3,688,600	▲160,200	▲18,600	3,670,000	3,688,600	▲160,200	▲18,600	3,670,000	3,670,000	給料・賞与・特別賞与																
通勤手当	150,000	133,700	▲16,300	150,000	139,200	▲10,800	130,000	110,200	▲29,000	▲19,800	156,000	113,660	▲3,460	42,340	144,000	144,000	職員定期代・駐輪代																				
法定福利費	600,000	561,409	▲38,591	600,000	601,726	1,726	630,000	551,282	▲43,406	▲78,718	600,000	587,739	▲36,457	12,261	600,000	600,000	社会保険料																				
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
謝礼金	1,700,000	1,555,000	▲145,000	1,600,000	1,702,000	102,000	1,700,000	1,680,600	▲15,292	▲19,400	1,700,000	1,751,000	▲70,400	▲51,000	1,000,000	1,000,000	講座講師代他																				
教材費	350,000	275,520	▲74,480	300,000	215,176	▲84,824	250,000	199,994	▲115,712	▲50,106	250,000	156,167	▲43,727	93,833	200,000	200,000																					
会議費	500,000	402,876	▲97,124	450,000	491,090	41,090	400,000	386,178	1,020	▲13,822	500,000	562,478	▲176,500	▲62,478	280,000	280,000																					
広報費	600,000	466,074	▲133,926	600,000	433,084	▲164,916	600,000	436,104	▲4,320	▲163,986	600,000	462,000	▲25,996	138,000	600,000	600,000																					
リース料代	370,000	317,520	▲52,480	370,000	333,890	▲34,120	370,000	331,560	▲24,400	▲38,440	370,000	331,560	0	38,440	370,000	370,000																					
講師交通費	100,000	97,820	▲2,180	100,000	74,902	▲25,098	80,000	127,302	▲47,302	110,000	75,822	51,480	34,178	70,000	70,000																						
ネット交通費	1,900,000	1,626,920	▲273,080	1,700,000	1,566,950	▲288,950	1,700,000	1,713,440	▲101,255	13,640	1,700,000	1,770,703	▲70,703	870,000	870,000																						
バカ代	0	124,046	124,046	0	101,285	101,285	50,000	0	▲50,000	0	50,000	97,872	▲47,872	50,000	50,000																						
合宿費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
消耗品費	1,020,000	780,475	▲239,525	600,000	410,624	▲189,376	260,000	718,248	307,624	458,248	400,000	397,400	320,848	2,600	330,000	330,000																					
雑費	100,000	15,581	▲84,419	20,000	16,300	▲3,700	20,000	13,824	8,324	▲6,176	30,000	18,300	▲4,476	11,700	20,000	20,000																					
家賃	600,000	600,000	0	600,000	680,000	80,000	900,000	969,346	289,346	69,346	960,000	960,000	9,346	0	960,000	960,000																					
接待交際費	40,000	11,260	▲28,740	20,000	33,258	13,258	30,000	25,108	▲8,150	▲4,892	20,000	11,400	13,708	8,600	20,000	20,000																					
水道光熱費	130,000	107,382	▲22,618	130,000	108,482	▲21,518	110,000	80,537	▲27,545	▲29,063	100,000	84,638	▲3,901	15,162	85,000	85,000																					
コピー機維持費	100,000	238,029	138,029	200,000	237,698	37,698	250,000	239,888	1,890	▲10,412	250,000	231,588	▲18,412	300,000	300,000																						
保険料	400,000	388,239	▲11,761	400,000	377,164	▲22,836	400,000	381,182	4,018	▲18,818	400,000	409,270	▲28,088	▲9,270	400,000	400,000																					
通信運搬費	700,000	613,765	▲86,235	700,000	619,749	▲80,251	650,000	766,870	146,701	116,870	700,000	903,234	▲136,864	▲203,234	900,000	900,000																					
郵送料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
諸会費	50,000	0	▲50,000	10,000	10,160	160	10,000	5,080	▲5,080	▲4,920	10,000	0	5,080	10,000	10,000																						
研修費	0	3,000	3,000	10,000	0	▲10,000	10,000	0	▲10,000	0	10,000	0	10,000	10,000	10,000																						
管理費	605,000	399,095	▲205,905	576,000																																	

<第5号議案>

2020年度役員選任

2020年度の役員として下記の方を選任致します。

- ・ 代表理事 横井 進
- ・ 筆頭理事 伊藤 準二
- ・ 理事 上田 元己
- ・ 理事 小田 光生
- ・ 理事 吉村 至衛
- ・ 理事 朝田 泰
- ・ 理事 福岡 潔
- ・ 理事 吉田 誠司
- ・ 理事 森下 保男
- ・ 理事 胡内 友文
- ・ 理事 中野 治男
- ・ 監事 大熊 琢巳

その他報告事項

上記役員以外の2020年度正会員

- ◆ 高島 裕美子 (9期生)
- ◆ 岩田 敏子 (11期生)
- ◆ 吉川 卷子 (11期生)
- ◆ 雑賀 典子 (11期生)
- ◆ 堀部 和裕 (12期生)
- ◆ 森 静枝 (12期生)
- ◆ 鈴木 好則 (13期生)
- ◆ 林 昌子 (13期生)
- ◆ 伊豆原 英子 (14期生)
- ◆ 祖父江 洋子 (14期生)
- ◆ 中川 員 (14期生)
- ◆ 波多野 桂一 (14期生)
- ◆ 霜 桂子 (15期生)
- ◆ 堀田 武 (15期生)

<第5号議案>

2020年度役員選任

2020年度の役員として下記の方を選任致します。

- ・ 代表理事 横井 進
- ・ 筆頭理事 伊藤 準二
- ・ 理事 上田 元己
- ・ 理事 小田 光生
- ・ 理事 吉村 至衛
- ・ 理事 朝田 泰
- ・ 理事 福岡 潔
- ・ 理事 吉田 誠司
- ・ 理事 森下 保男
- ・ 理事 胡内 友文
- ・ 理事 中野 治男
- ・ 監事 大熊 琢巳

その他報告事項

上記役員以外の2020年度正会員

- ◆ 高島 裕美子 (9期生)
- ◆ 岩田 敏子 (11期生)
- ◆ 吉川 卷子 (11期生)
- ◆ 雑賀 典子 (11期生)
- ◆ 堀部 和裕 (12期生)
- ◆ 森 静枝 (12期生)
- ◆ 鈴木 好則 (13期生)
- ◆ 林 昌子 (13期生)
- ◆ 伊豆原 英子 (14期生)
- ◆ 祖父江 洋子 (14期生)
- ◆ 中川 員 (14期生)
- ◆ 波多野 桂一 (14期生)
- ◆ 霜 桂子 (15期生)
- ◆ 堀田 武 (15期生)